



はあもにい

しげい病院に歩行補助支援ロボットがやってきました!!

しげい病院 リハビリテーション部 副主任 作谷 誠一

近年、リハビリテーション領域における歩行補助ロボットの導入が注目されています。しげい病院のリハビリテーション部でも2022年4月に岡山下2例目、県南西部では初となるリハビリテーション歩行補助支援ロボットを導入しました。

写真の歩行補助支援ロボットは脳卒中により麻痺を認めた下肢をロボット機器によりアシストし、免荷装置を使用してトレッドミル上で歩行練習を行う歩行補助装置です。ロボットのアシスト機能で歩行課題の難易度を設定、歩行姿をモニターに表示することで患者さんへのフィードバックに活用し、搭載されたゲーム機能により、楽しく運動学習をサポートすることができる様々な支援機能を備えています。

対象は、脳血管疾患による後遺症により下肢に麻痺を認められた方であり、導入に際しての効果として、歩行FIM（機能的自立度評価）の改善率が向上し早期退院に繋がる等、



▲導入した歩行補助支援ロボット



▲専門チームのメンバー

これまでに多くの報告があります。そのため、今後脳血管疾患患者の自立歩行獲得に向けたリハビリテーションプログラムの一翼を担う可能性に期待されています。

今回の歩行補助支援ロボットの導入に伴い、リハビリテーション部内でも専門チームを発足し、研修を受けたリーダーPT2名を中心とした計8名が、臨床現場への汎化に向けた操作方法の習熟や院内外への啓蒙を目指し、日々研鑽を重ねています。

5月16日から、最初の症例となる回り八病棟患者さんへの導入が始まり、現在は1日あたり最大6症例に活用しており、今後対象となる方へ積極的に導入していく予定です。

これまで導入してきた患者さんからも「疲労が少なく、長く歩くことができる」などの感想をいただいております。利用しているセラピストも、「転倒リスクの少ない状態で多くの練習ができ、早期の歩行獲得に繋がっている」とリハビリテーションプログラムの一つとして大きな手応えを感じています。

しげい病院では、この4月から新たにウィズコロナ・アフターコロナを見据えた病院改革プ

プロジェクト「SHIGEI PROJECT 2022 Change & Challenge 変革と挑戦」がスタートし、リハビリテーション部でも提供するリハビリテーションの質向上に向け、様々な取り組みを行っています。

今回導入されたリハビリテーション歩行補助支援ロボットが、変革と挑戦のきっかけとなることを

を願い、また「ロボットリハビリテーションといえはしい病院」と地域の方々から言っていただけるように、リハビリテーション部一同頑張っていきたいと思います。

興味のある方は、いつでもリハビリテーション部へお声掛けください。



▲専門チームで研修を受けました



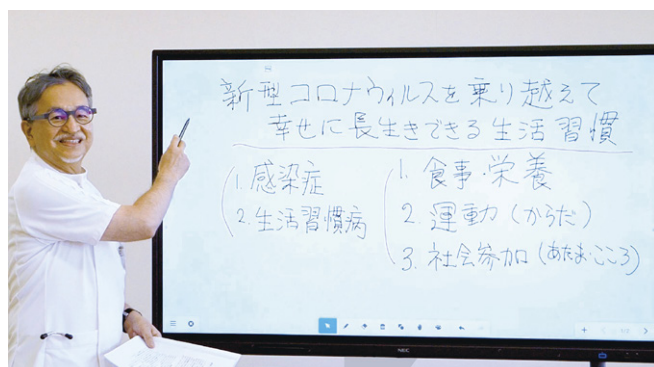
YouTube わがプロチャンネルに 真鍋 康二院長が出演

研究所附属病院 地域連携部 副主任 中井 康太

「わが街健康プロジェクト。」は「共に考える地域医療」「心かよう地域医療」を目指す、地域住民の皆さんと医療提供者の参加による対話型のプロジェクトです。年4回の講演会と年2回のサポーターズミーティングを、倉敷市内を中心とした25の医療機関で共催しています。

活動テーマは、①医療機関と上手に付き合う ②病気の予防と健康維持 ③倉敷をもっと好きになる です。新型コロナウイルス感染拡大にともない、講演会やサポーターズミーティングは中止となっています。しかし、「わが街健康プロジェクト。」の活動を継続していきたいという共催病院のスタッフの熱い思いから、サポーターの皆さんに発信できるものを共催病院のスタッフ間で検討し、公式ラジオ番組、ニュースレター「にじいろ便り」、YouTube 公式チャンネルを継続して発信しております。

YouTube ではすでに4つ目の動画配信をしており、なかなか再生回数が伸びない中、次回のテーマを検討していました。新型コロナウイルスの影



▲ホワイトボードを使用した講演会形式がとても好評でした！

響からお家で過ごす時間が増え、健康について考える機会が増えているということ。そこで、老年期医療や生活習慣病について専門であり、多くの講演会の実績がある真鍋院長に出演依頼したところ、快く引き受けてくださいました。

今回のわがプロチャンネルで「新型コロナウイルスを乗り越えて 幸せに長生きできる生活習慣」と題してお話をいただきました。ホワイトボードを使用した講演会形式での動画撮影でしたが、視聴される方々にとても分かりやすい内容となっております。また、多くの方々に視聴していただけるように、過去の配信動画もしっかりとアピールいただきました。

今回の動画は、共催病院のスタッフからも好評です。ぜひ皆さんもご視聴よろしく願いいたします。



▲視聴はこちらから↑

床頭台ユニット・電動ベッドを 更新しました

しげい病院 看護部 課長 渡邊 ゆかり

本年5月に、患者さんの療養環境をより快適にするために、全病室の床頭台ユニットと電動ベッドを更新しました。

更新した床頭台ユニットは、更新前と変わらず患者さんの療養生活に配慮したパーティションタイプとなっていることに加え、ユニット内に冷蔵庫を設置しました。これまでは保冷库しか準備できずご不便をおかけしましたが、リハビリテーション後にお好きな冷たい飲み物なども楽しんでいただけるようになりました。また、新しいテレビでは、画面の広域な角度調整が可能となったことで、患者さんから「見やすくなった」と喜ばれています。テレビカードを廃止し、一日当たりの定額制にしたことも好評です。

新しい電動ベッドで

は、患者さんにとって快適なベッドの角度や高さをあらかじめ設定できるほか、手元スイッチのボタン一つで患者さんに合わせた設定変更もできるようになりました。加えてベッドからの転倒や転落を予防するため、患者さんの動きを見守る離床キャッチセンサーがベッドに内蔵されています。ご理解をいただいたうえで、安全上の配慮が必要な患者さんに使用させていただいています。

今後も、患者さんにとって快適な療養生活となるよう、設備面だけではなく職員の医療サービス向上も図ってまいります。



▲電動ベッドと床頭台ユニットを一新

床頭台ユニットと電動ベッドが一新され、このプロジェクトを任されていた 総務課 吉田係長にインタビューさせていただきました。

更新のきっかけはなんですか？

一番は老朽化です。南館ができたのが平成10年なので家具も古いもので24年。入院患者さんに対してより良質なアメニティ提供の一つとして3年前から構想は立ち上がっていました。今までは本館と南館に違いがありましたが、全館統一することで転棟した際も同じものを提供できるというメリットもあります。ベッドに関しては経年劣化があり、価格交渉が進んで一気に話は進みました。

選定のポイントがありますか？

患者さんからは冷蔵庫を常備して欲しいという意見がよくありました。また、テレビカードを買いに行く手間を考えると、今回のTVや冷蔵庫を備え付けた家具が最適でした。以前の間仕切り家具は少々低めであったので、プライバシーを考慮し1,700mm高で選定しました。ベッドは現在使用している設置型の離床センサーに変わり、患者さんが動くと離床を感知する離床キャッチセンサー付のベッド

もあり、リスク回避が強化される予定です。

何台入れ替えたのですか？

間仕切り家具 85 台、床頭台 37 台、テレビと冷蔵庫 207 台ずつ、電動ベッド 170 台、ロングベッド 1 台です。

最後に一言ありますか？

搬入当日は家具内の荷物はもちろんのこと、患者さんにも移動をしてもらう必要がありましたが、院内の皆さんのご協力もあり、大きな事故なく予定通り行えました。本当にありがとうございました。

(インタビュアー 岡本)



▲ベッド・家具の入れ替えの様子

最新の生化学・免疫自動分析装置にリニューアル！

研究所附属病院 臨床検査部 技師長 石山 聖子

研究所附属病院 臨床検査部では、6月1日に生化学・免疫自動分析装置が新しくなりました。これまでは別々の分析装置で行っていた検査が、より処理能力の高い1台でできるようになりました。

この分析装置には、一度に440検体を投入できます。1時間に1,800テストの処理が可能ですので、測定時間が大幅に短縮する検査項目もあります。微量検体測定技術により検査に必要な採血量もさらに少なくなります。

この装置では、血液や尿などに含まれる様々な成分を測定します。主な項目には、蛋白質、脂質、糖質、AST・ALT・ γ -GTP（肝機能検査）尿素窒素・クレアチニン（腎機能検査）、アミラーゼ（膵臓検査）、CK・BUN（心臓検査）、甲状腺機能検

査、肝炎ウイルス検査、腫瘍マーカーなどがあります。

今回の機器更新に伴い、検査報告書に基準値を表記しています。検査結果を見る時に参考にしてください。また単位が変更になっている項目もありますのでご注意ください。

検査結果は疾患の診断・治療の指標となります。これからも正確な検査結果を迅速に提供できるように努めてまいります。検査についてわからないことがありましたら、いつでもお気軽に臨床検査部にお尋ねください。



▲最新の生化学・免疫自動分析装置

倉敷中央病院とつながる“KChart”

しげい病院 地域連携部 主任 岡本 牧子

この度、倉敷中央病院のカルテ公開システム「KChart」がしげい病院でも利用できるようになりました。倉敷周辺の病院ではすでに導入しているところも多いのですが、このシステムの何がすごいって、倉敷中央病院のカルテ情報を閲覧できるのです。これは、倉敷中央病院と連携医療機関では“共同利用宣言”をしており、安全な環境の下でカルテなどの個人情報も共有できるようになっているのです。

今までは電話でまず転院相談があり、診療情報提供書や採血データなどをFAXでいただき、さらに心機能評価やインスリンの情報など追加で欲しい情報があれば、またその都度電話連絡をしてFAXをいただくという流れでした。

それがこのKChartを利用すると、患者さんの基本情報はもちろんのこと、検査予約や外来受診歴、食事歴や服薬情報、検体検査結果や検査レポート、日々のバイタルや血糖測定など、様々な情報が閲覧できる仕組みとなっています。

このシステムを利用する

ことで従来の転院相談に比べ電話連絡やFAXの回数が減り、両院ともに業務改善が図れるようになります。また転院直前の状況を確認したり、転院した後も前院でのデータを参照したりと、診療においても助かる部分が多くあると思われます。

現在、KChartにログインできるのは必要性を考慮してまずは医師と地域連携部の前方連携担当など限られたスタッフだけとなっていますが、今後利便性の検証を進め利用範囲も拡大する予定です。

今「SHIGEI PROJECT 2022 Change & Challenge 変革と挑戦」のもと、しげい病院はIT化がどんどん進められており、アナログな時代を過ごしてきた私たちも波に乗り遅れないように、有益な変化は積極的に取り入れていきたいものですね。



▲KChartの導入で連携がスムーズに！

目指せ！未来の研究者!!!

～岡山操山中学校の生徒が職場体験に来ました～

重井医学研究所 分子遺伝部門 部長 松山 誠

重井医学研究所は 30 年にわたって小学生から大学生・大学院生まで、幅広い学生・生徒を対象に見学や体験学習を受け入れています。今年は、中高一貫教育を行っている岡山操山中学校から、初めて職場体験学習の申し入れがあり、5月25日（水）、生徒 12 名と引率の先生 1 名が研究所に訪れました。

はじめに「研究者になるための道のり」と題して、研究者の普段の仕事内容や研究者になるために必要なことなどを解説しました。また、これまで研究所が行ってきた腎臓病の研究やモノクローナル抗体・新規ゲノム編集技術 GONAD 法開発の紹介をしました。

次に、研究所の見学と模擬実験を行いました。多くの生徒さんに参加していただいたので 2 班に分けて、「細胞観察や研究機器の学習」、「たまねぎから DNA を取り出す実験」をそれぞれ体験してもらいました。ただ実験を行うだけでなく、「なぜここで遠心機を使うのか?」「なぜ洗剤を入れるのか?」「なぜ食塩は必要なのか?」などを、生徒自身の知識を基に考えさせるようにしました。

最後に、研究に関することについて職員と生徒でディスカッションを行いました。岡山操山中学校の生徒はとても活発で、研究所の研究内容や今回行った模擬実験について積極的に質問などをしてくれました。また、実験中やディスカッション中、生徒自身が主体的に考えている姿は研究所の職員にも刺激になりました。

現在コロナ禍でいろいろと行動が制限されている状況ではありますが、研究所は、今後も地域貢献の一環として、可能な範囲で見学や体験学習の受け入れを行っていく予定です。



はあもにい倉敷では駐車場の貸し出しを行っています

はあもにい倉敷 チーフ 竹井 優太郎

「akippa（アキッパ）」をご存じでしょうか？
akippaとは、空いているスペースを駐車場として専用サイトに登録することで、予約制で駐車場を貸し出しできるサービスです。

はあもにい倉敷は、この「akippa」に昨年から登録し、駐車場の貸し出しを行っています。休館日（祝祭日・第5日曜日・お盆やお正月）には、はあもにい倉敷の玄関側（15台）と奥の南側（10台）の駐車場の貸し出しを行っています。倉敷市民会館でコンサートがある日は、はあもにい倉敷の営業日ではありますが、17時～22時に奥の南側の駐車場を貸し出しています。

休館日は1日24時間を700円で利用でき、出入りも自由ですので、とてもお得です。美観地区や倉敷市民会館に近いので、停めてから目的地まで時間がかからず、時間を有効に使えます。また、出し入れするスペースが広いので運転が苦手な方も安心して利用できると思います。

スペース番号をご確認ください



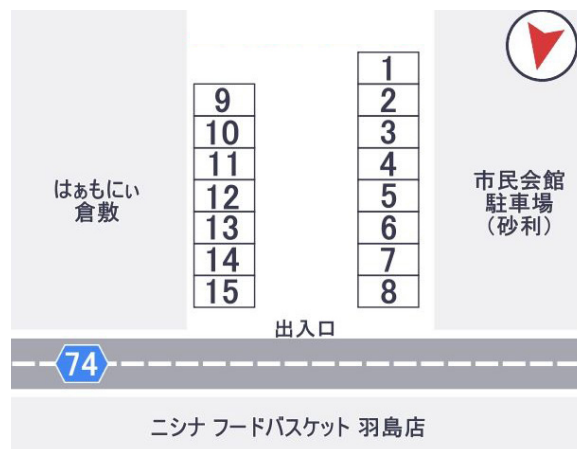
おかげさまでご好評いただいております、よいレビューもいただいております。このGWにも80人以上の方に利用いただくことができました。

8月のお盆にも、貸し出しを予定しています。コンサートも徐々に開催されてきていますので、ぜひこの機会に駐車場をご利用ください。

ご不明な点がございましたら、担当 竹井までご連絡ください。



▲ akippa【はあもにい倉敷 玄関駐車場】



▲駐車スペースはこちら↑



▲はあもにい倉敷（倉敷市羽島 666-1）

はあもにい倉敷は医療法人創和会グループの健康増進施設です。

ベネッセの英語教室 BE studio サマートライアルレッスンのご案内

はあもにい倉敷 英語講師 小松 愛実

ベネッセの英語教室 BE studio はあもにい倉敷校です！

今年も毎年恒例の「サマートライアルレッスン」を開催します。8月3回分のレッスンが、1,650円（教材費込）でお試しいただけます。（通常月額 6,830円）

新学期も落ち着き、何か習いごとを始めようかなと考えていらっしゃる方、ぜひぜひお気軽にご参加ください。こちらのキャンペーンでは、ベビーコース（1歳）～小学6年生までのコースをご案内しております。少人数制なので、英会話教室が初めてのお子さまでも安心してお越しくださいね♪

BE studio では、今の小・中学校英語教育にも対応したカリキュラムで、学校の一步先を学ぶことができます。また、お子さまの「分かる！英語って楽しい！」という気持ちを大切に、日々レッスンを行っております♪レッスンだけでなく年間を通して、サマーファンプログラム・ハロウィン・クリスマス会と外国の文化に触れることのできる楽しいイベントも好評です！

講師一同、笑顔あふれる楽しい教室でお待ちしております♪



▲ベネッセの英語教室
BE studio はあもにい
倉敷校HP



Summer Trial Lessons

サマートライアルレッスン

通常レッスン3回分 **6,830円** が ⇒ 教材費&消費税込 **1,650円**

さらにトライアルレッスンを受けて3日以内にご入会の方、入会金 **5,500円** (税込) が ⇒ **0円**

Babyコース
(1歳から3歳)

水曜日 8/3・8/17・8/24
金曜日 8/5・8/19・8/26
土曜日 8/6・8/20・8/27

Kids～Advancedコース
(幼児から小学生)

火曜日 8/2・8/16・8/23
水曜日 8/3・8/17・8/24
木曜日 8/4・8/18・8/25
金曜日 8/5・8/19・8/26
土曜日 8/6・8/20・8/27

レッスン時間等詳しい情報は今すぐお気軽にお問い合わせください。☎ **0120-941-821**

はあもにい倉敷は医療法人創和会グループの健康増進施設です。

確し物案内

重井薬用植物園

植物園を楽しむ会

「玉草咲く日暮れ時を楽しむ」

日時：7月16日（土）

18:00～20:00

会場：重井薬用植物園

編集後記

●つい先日、王子が岳に行ってみりました。ニコニコ岩のふもとまでは車で行けるということはリサーチ済みでしたが、せっかくなので運動も兼ね登山口から登ってみようということとなり、海沿いの駐車場に車を停めていざハイキングスタートです。意気揚々と登り始めたのはいいものの思いのほか道のりは険しく、ニコニコ岩に到着する頃にはヘトヘトになっていました。どれくらい登ったのかなとapple watchで見ると階段69階分、そりゃ疲れますよね。案の定、その翌日には筋肉痛。その日はヒーヒー言いながら階段を上り、やっとお昼ご飯にたどり着きました。（MK）

●皆さんYouTubeは見られますか？「YouTube」といえば若年層が見るものというイメージがあると思います。ですがこのコロナ渦で利用者数を大きく伸ばし、少し古いデータですが、2021年5月には国内の18歳以上の月間利用者数は6,900万人を超え、そのうち45歳から64歳の月間利用者数は2,500万人で、この数字は世代人口の75%にも及ぶそうです。（google社より。）今幅広い世代で利用されています。ではなぜYouTubeの利用者がそんなに増えたのか、それは魅力的なコンテンツが簡単に見つけられるからだだと思います。何かやり方が分からないことをYouTubeで調べれば、文章だけでピンとこなかった物も動画を見ながら真似ができますし、今日の夕飯に困ったときは、「カレー」や「肉じゃが」だけでも、プロの料理人から一般の人まで様々な動画があり、レシピもそれぞれ違い好きなものを選択できます。ニュースをとってもワイドショーでタレントやコメンテーターが話しているのとは全く違った視点での意見や、リアルでスピーディーな情報が見つかります。ここだけでは伝えきれない魅力がYouTubeにはあります。まだ利用したことが無い方はぜひ一度利用してみてください。そしてよろしければ検索バーで「わがプロチャンネル」と検索していただき、チャンネル登録と高評価をしていただけると幸いです。（KR）

「“やめたいけどやめられない”を繰り返さないために」

ジャパンEAPシステムズEAP相談室

夜更かし、飲みすぎ、食べすぎ、たばこ、ネットサーフィン、ゲームなど、“やめたいけどやめられない”ことはありますか。今度こそやめようと決心をしたものの、三日坊主になったり、誘惑に負けてしまったり、頑張っても挫折してしまい「自分は意志が弱くてだめだ」と自責した経験がある方も、いらっしゃるかもしれません。

そんな悩みをお持ちの方に、“やめる”コツをご紹介します。

■やめることは一つに絞る

何かをやめようと決心したとき、気になっていたことを“一気に”かつ“全て”やめようとしていませんか。何かを変えるためにはエネルギーがいるので、一度にたくさんのことを変えようとすると、すぐに限界がきてしまいます。

まずはやめることを一つに絞りましょう。どうしてもやめたいことが複数ある場合は、「本当にやめる必要があるのか」「今の自分にとって何が大事か」という観点から、優先順位を考えてみてください。

■我慢するより他のことをする

何かをやめたいとき、禁止すればするほど、かえってやめたいことが気になってしまいます。すると、それをしている自分を想像してしまい、ますますやりたくなってしまう。ここで大事なことは、強い意志を持って「ダメ」と自分に言い聞かせるのではなく、何か別のことをしようと代替行動を見つけて、置き換えていくことです。

また、やめたいことではなく、他のやりたいことに意識を向けてみるのもいいでしょう。

■とにかく一度やめてみる

何かをやめるために、完璧を目指してはいませんか。大事なことは、まずやってみるという一歩を踏み出すことです。

一度やめてみてうまくいかなかったら、軌道修正をすればいいだけです。準備が整っていないからと始めないでいるより、できなかったときにそのまま諦めてしまうより、三日坊主を続けることで、結果的にやめている日を増やしていきましょう。

■サポーターや仲間を見つける

何かをやめようと取り組む時に、一人で何とかしようとしていませんか。中には、恥ずかしさや、馬鹿にされるのではないかとという恐れから、相談したくてもできないこともあるかもしれません。

ただ、やめられないのは、適切な方法や順序を知らないだけかもしれないのです。友人に相談したり、一緒にやめる仲間を募ったり、監視役を頼んだり、一足先にやめられた人にアドバイスをもらったりすることで、意外に励みになったりするものです。

“やめたいけどやめられない”を繰り返して苦しくなっているとき、身近な人に相談することがためられるときは、チャレンジをサポートさせていただきますので、お気軽にEAP相談室へご連絡ください。



参考文献：大平信孝（2019）「やめられる人」と「やめられない人」の習慣 明日香出版社
杉山尚子（2005）行動分析学入門 ヒトの行動の思いがけない理由 集英社新書

※医療法人創和会は職員の心の相談窓口として、ジャパンEAPシステムズと契約しています。相談はお気軽に、電話やメールで。



生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に

しげい病院

〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)3655 FAX086(421)1991

岡山しげい訪問看護ステーション

岡山しげい居宅介護支援事業所
〒710-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)4300 FAX086(282)4301

重井医学研究所附属病院

〒707-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)5311 FAX086(282)5345

倉敷しげい訪問看護ステーション

倉敷しげい居宅介護支援事業所
〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)8111 FAX086(421)1991

重井薬用植物園

〒710-0007 倉敷市浅原20
TEL086(423)2396

重井医学研究所

〒707-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)3113 FAX086(282)3115

倉敷昆虫館

〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)8207